土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　一般国道191号道路改良事業に伴う測量調査設計業務委託（宇佐工区）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　道路 構造物基礎

ボーリング名	R4-B-2	**調査位置**	広島県山県郡安芸太田町大字坪野			**北緯**	34° 33′ 12.9203″
発注機関	広島県西部建設事務所安芸太田支所			**調査期間**	2022年 9月 13日 ～ 2022年 9月 17日	**東経**	132° 21′ 32.5576″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 119.62m	**角度**	180° 上下 0° 90°	**方位**	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°	**使用機種**	**試錐機**	東邦D-0B
総削孔長	13.00m								**エンジン**	ヤンマーNFAD8	**ポンプ**	東邦BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	118.77	0.85		礫					盛土 礫はφ6cmまでの硬質な角礫～亜円礫。	
1				礫質土		褐灰				09/17 2.25
2									礫はφ5cmまでの硬質な角礫～亜円礫。 含有率は80%程度。 砂は細砂主体。	
3										
4						茶褐				
5	114.42	5.20								
	113.62	6.00		礫質土		褐灰	rd2		在来地盤 礫はφ5cmまでの硬質な片状礫、短柱状礫、角礫、亜円礫。含有率は80%程度。 砂は細砂主体。 深度5.90m付近に金属片を含む。	
6						茶灰				
	112.82	6.80		礫混じり粘土		茶		rc2	礫はφ2cmまでの硬質な角礫主体。含有率は10%程度。	
7				礫混じり砂質土						
8						茶灰	rd2		砂は細粒分を多く含む砂で細砂主体。 φ1cmまでの硬質な角礫主体。含有率は10%程度。	
9	110.52	9.10								
	109.62	10.00		風化岩					礫混り土砂 コアは角礫状～片状コアとして採取される。 風化が著しく指圧で土砂状～礫状に崩れる。	09/20 9.72
10				軟岩		褐灰			軟岩1 コアは角礫状～棒状コアとして採取される。 全体的に風化し、やや強い指圧～ハンマー軽打で礫状に崩れる。 コア肌粗いが、深度10.40m～10.75m間、11.40m～11.50m間および12.20m～12.30m間は硬質でコア肌滑らか。 0°～80°の割れ目が数cm～十数cm間隔で入る。割れ目の卓越方向は水平方向。	
11										
12										
13	106.62	13.00								
14										
15										
16										
17										

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
7	1.15	2	2	3	7/300		
	1.45						
8	2.15	2	3	3	8/300		
	2.45						
7	3.15	2	2	3	7/300		
	3.45						
4	4.15	1	1	2/130	4/330		
	4.48						
8	5.15	1	2	5	8/300		
	5.45						
3	6.15	1	1	2/150	4/350		
	6.50						
5	7.15	2	2	1	5/300		
	7.45						
6	8.15	2	2	2	6/300		
	8.45						
16	9.15	2	6	8	16/300		
	9.45	50/90			50/90	90	
167	10.00						
	10.09	50/0			50/0		
	11.00						
	11.00						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1.00				
	T-1	Ⓢ		9/15
2.00				
	T-2	Ⓢ		
3.00				
6.00				
	T-3	Ⓢ		9/16
7.00				
				9/17